

ぼくらはみんな知っている　きつたか榮一

> 昔々 あるところにく
なんてー

不思議な言葉だろ 魔法の種をまいたように

ことばから 景色が生まれるのだ

祖父がはなすと 目の前に川があつて カツパが流れて来る

ザザザン ドドドーン 「悪さませーん 止めてくれー!!」

大雨のあとの川なのか+

知らないのに見える おはなしの不思議

姉のはなしは 桃ごころ岡山の桃太郎

どんぶり「どんぶりっ」

てふてふが舞う のどかな景色の中

のびのびと成長した桃太郎は 黍団子で忠誠を誓った

イヌサルキジを連れ オニという異形の集団の島を襲い

その財宝を戦利品として没収 天下に名をとどろかせず

がが 日本人ファースト過ぎるんじゃ となる かも

幼少時 童話や昔話 イソップなどの寓話で養われる

「いつどこで だれが」を理解する力はー認知力思考力

の基となる大切な感覚⇨見当識(見当感ともゆづ)

> (いまはいつ)(時間認識) > (「はど」)(空間認識

> (あなたはだれ)(だれという)周囲の人物や状況の

認識⇨社会性の鍵でもある

釈迦の教へが忘れられ 弥勒菩薩が滅法の世を救い

給う日は 十五億六千五百万年のはるかな未来の

果ての果て 下生の日^{げしやう}まで弥勒は兜率天

にて御修業

今から何世紀もかけて 人類は火星に都市と新たな
文明を築くだろうそして遠い未来 すべてが

喪^{うしな}われる危機がくる 人間性と科学力の限界で生
存の物語が再開し 文明の興亡の悲哀を 僕らは胸
に刻む だが 作家が描く精緻な苦闘に 真実と希
望を見るに違いない

私は信じる「あらゆる物語は真実の原則によって書
かれ」著者は「執筆において必要十分条件を満たすもの」
これで楽になる 多彩な小説や詩の中に数々の真実を発見し
感動し楽しみを深めている

昔々はいつなのじゃ？
あるところ など 許さんぞ

秘密帽子で身柄とる 泣く子も黙る 蝶^{ちやうほうしつ}放室

無い^な描^かく攻めて スピンオフ

月面 火星の裏表 地政学など ちせーちせー

昔の子供は今大人

だから誰でも知っている ほんとのほんとのお話が
今から始まる合図だよ